

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月3日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東  
 コード番号 4734 URL http://www.beingcorp.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 後藤 伸悟 (TEL) 059(227)2932  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,552	4.0	342	5.3	349	4.4	163	△58.5
27年3月期第3四半期	3,417	4.7	325	13.0	334	13.0	394	84.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 158百万円(△60.4%) 27年3月期第3四半期 400百万円(86.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第3四半期	円 銭 20.79	円 銭 —
27年3月期第3四半期	50.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第3四半期	百万円 5,961	百万円 2,950	% 49.5
27年3月期	5,939	2,909	49.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 2,950百万円 27年3月期 2,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	9.3	630	3.1	640	2.6	420	△19.0	53.41

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	8,257,600株	27年3月期	8,257,600株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	393,559株	27年3月期	393,559株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	7,864,041株	27年3月期3Q	7,864,192株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、新興国経済の減速による影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループでは、主力各商品のバージョンアップ販売を着実に進めるとともに、取り扱いソフトウェアの拡充や付加サービスの開発に力を注いでまいりました。また、特に情報共有システムにおいて顧客基盤の拡大に向けた取り組みを進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比して4.0%増加し3,552百万円となりました。利益面では、人件費や研究開発費の増加があったものの、増収効果により、経常利益は前年同期に比して4.4%増加し349百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比して58.5%減少し、163百万円となりました。これは主に、前年同期において多額の法人税等調整額の計上があったことによるものです。

セグメント別の概況は次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、公共工事の品質確保の促進に関する法律等が改正されたことに伴い土木工事積算システムのニーズが高まり、販売が堅調に推移しました。また、情報共有システムのシェア拡大に向けて積極的な活動を展開しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して3.9%増加し2,583百万円となりました。セグメント利益は、研究開発費の増加などがあったものの、前年同期に比して39.0%増加し261百万円となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業につきましては、引き続き紹介案件やバージョンアップ販売の増加に努めるとともに、取り扱いソフトウェアの拡充や付加サービスの開発に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して4.2%増加し969百万円となりました。

利益面では、人員増によるコスト増加などにより前年同期に比して37.3%減少し94百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 財政状態の分析

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて105百万円減少し、4,348百万円となりました。これは主に、現金及び預金が139百万円、未収入金の増加126百万円を含めその他の流動資産が147百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が364百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて127百万円増加し、1,613百万円となりました。これは主に、保証金の増加27百万円を含めその他の投資その他の資産が55百万円、投資有価証券が76百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて21百万円増加し、5,961百万円となりました。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し、1,341百万円となりました。これは主に、前受収益が33百万円増加し、賞与引当金が79百万円、未払法人税等が70百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、1,669百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が35百万円、長期前受収益が43百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて18百万円減少し、3,011百万円となりました。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて40百万円増加し、2,950百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により163百万円増加し、配当により117百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.5ポイント上昇し、49.5%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて155百万円増加し、1,786百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間末における営業活動により増加した資金は445百万円（前年同四半期は412百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益333百万円や売上債権の減少額363百万円などの収入、法人税等の支払額239百万円などの支出があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間末における投資活動により減少した資金は172百万円（前年同四半期は165百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出100百万円、有形および無形固定資産の取得による支出42百万円、保証金差し入れによる支出30百万円などがあったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間末における財務活動により減少した資金は118百万円（前年同四半期は118百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額117百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成27年5月8日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,247,489	2,386,928
受取手形及び売掛金	894,079	529,358
有価証券	968,561	965,906
商品及び製品	8,480	6,915
原材料及び貯蔵品	4,365	6,517
繰延税金資産	254,255	227,352
その他	78,238	225,739
貸倒引当金	△1,150	△300
流動資産合計	4,454,320	4,348,419
固定資産		
有形固定資産	224,927	235,675
無形固定資産		
のれん	288,488	272,656
その他	36,530	37,881
無形固定資産合計	325,019	310,538
投資その他の資産		
投資有価証券	229,031	305,068
その他	712,860	768,556
貸倒引当金	△6,289	△6,427
投資その他の資産合計	935,603	1,067,197
固定資産合計	1,485,550	1,613,411
資産合計	5,939,870	5,961,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	91,685	78,088
未払法人税等	114,684	44,271
前受収益	720,959	754,056
賞与引当金	182,961	102,977
その他	329,608	362,444
流動負債合計	1,439,900	1,341,837
固定負債		
退職給付に係る負債	451,366	486,780
長期前受収益	1,136,763	1,180,017
その他	1,960	2,800
固定負債合計	1,590,089	1,669,597
負債合計	3,029,990	3,011,434
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	1,203,496	1,249,041
自己株式	△86,019	△86,019
株主資本合計	2,901,960	2,947,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,919	2,889
その他の包括利益累計額合計	7,919	2,889
純資産合計	2,909,880	2,950,395
負債純資産合計	5,939,870	5,961,830

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,417,829	3,552,897
売上原価	863,817	814,331
売上総利益	2,554,012	2,738,566
販売費及び一般管理費	2,228,729	2,396,100
営業利益	325,282	342,465
営業外収益		
受取利息	6,319	7,337
受取配当金	85	75
雑収入	5,593	1,883
営業外収益合計	11,998	9,296
営業外費用		
支払利息	38	38
障害者雇用納付金	1,880	1,520
雑損失	557	564
営業外費用合計	2,475	2,122
経常利益	334,805	349,638
特別利益		
事業譲渡益	-	5,000
投資有価証券売却益	-	1,037
特別利益合計	-	6,037
特別損失		
固定資産売却損	47	963
固定資産除却損	349	8
投資有価証券評価損	-	18,721
出資金評価損	-	1,000
事務所移転費用	-	1,155
減損損失	37,266	-
特別損失合計	37,663	21,848
税金等調整前四半期純利益	297,141	333,827
法人税、住民税及び事業税	70,509	146,922
法人税等調整額	△167,400	23,400
法人税等合計	△96,890	170,322
四半期純利益	394,032	163,505
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,032	163,505



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	394,032	163,505
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	6,435	△5,029
その他の包括利益合計	6,435	△5,029
四半期包括利益	400,467	158,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400,467	158,475
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	297,141	333,827
減価償却費	30,510	29,227
減損損失	37,266	-
のれん償却額	21,031	15,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,169	145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△109,534	△79,984
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	840	840
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38,588	35,414
受取利息及び受取配当金	△6,404	△7,412
支払利息	38	38
事業譲渡損益(△は益)	-	△5,000
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,037
投資有価証券評価損益(△は益)	-	18,721
出資金評価損	-	1,000
固定資産売却損益(△は益)	47	963
固定資産除却損	349	8
売上債権の増減額(△は増加)	456,341	363,568
たな卸資産の増減額(△は増加)	△231	△587
仕入債務の増減額(△は減少)	△30,259	△13,597
未払又は未収消費税等の増減額	32,257	△58,761
前受収益の増減額(△は減少)	△22,154	33,096
長期前受収益の増減額(△は減少)	△12,154	43,254
その他	△38,648	△31,360
小計	693,857	678,196
利息及び配当金の受取額	6,628	6,999
利息の支払額	△38	△38
法人税等の支払額	△289,154	△239,689
法人税等の還付額	1,355	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,648	445,468

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△434,800	△442,000
定期預金の払戻による収入	399,200	457,600
有価証券の取得による支出	△344,197	△100,219
有価証券の償還による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△4,598	△23,316
無形固定資産の取得による支出	△10,867	△18,981
投資有価証券の取得による支出	-	△100,000
投資有価証券の売却による収入	243,927	2,380
関係会社株式の取得による支出	△97,227	-
関係会社貸付けによる支出	△16,207	△24,000
事業譲渡による収入	-	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△672	△30,008
敷金及び保証金の回収による収入	415	1,226
保険積立金の積立による支出	△157	-
その他	0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,184	△172,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△728	△728
自己株式の取得による支出	△246	-
配当金の支払額	△117,457	△117,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,432	△118,108
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	129,031	155,039
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,200	1,631,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,554,232	1,786,928

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,487,089	930,740	3,417,829	—	3,417,829
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,694	800	6,494	△6,494	—
計	2,492,783	931,540	3,424,323	△6,494	3,417,829
セグメント利益	188,140	150,873	339,014	△13,731	325,282

(注) 1 セグメント利益の調整額△13,731千円には、セグメント間取引消去2,100千円及びのれん償却額△15,831千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「建設関連事業」セグメントにおいて、一括見積りサイト運営事業ののれんについて収益性の低下による減損の兆候が認められたため、その認識・測定をおこなった結果、帳簿価額的全額を減額し、減損損失(37,266千円)として特別損失に計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,583,333	969,564	3,552,897	—	3,552,897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,674	2,600	17,274	△17,274	—
計	2,598,007	972,164	3,570,172	△17,274	3,552,897
セグメント利益	261,531	94,665	356,197	△13,731	342,465

(注) 1 セグメント利益の調整額△13,731千円には、セグメント間取引消去2,100千円及びのれん償却額△15,831千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。